

県立学校を対象とした次世代の校務 DX 環境の構築に向けた情報提供依頼 実施要領

1 情報提供依頼(以下「RFI」という。)の目的

本 RFI は、県立学校を対象とした次世代校務 DX 環境を構築するに当たり、広く関連情報、提案及び資料の収集を行うために実施するものです。

2 対応方針案

(1) 文部科学省が示す次世代校務 DX 環境の踏襲

文部科学省が示す次のガイドライン等を踏まえることを前提とします。

- ・次世代校務 DX ガイドブック

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1397369_00002.htm

- ・教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1397369.htm

- ・GIGA スクール構想の下での校務 DX について

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/175/mext_01385.html

(2) 令和 6 年度に実施した現状調査結果の活用

令和 6 年度に実施した実態調査の結果や実態調査の結果を踏まえた目指す方向性（参加表明書提出後に送付する別紙の「県立学校の現状と対応方針」）を参照し、県立学校の現状を踏まえた提案とすることを前提とします。

3 仕様・各種要件

参加表明書提出後に送付する別紙の「仕様書」に記載の通りです。

4 RFI の内容

「2 対応方針案」や、別紙 2-1「仕様書(県立学校)」の内容・趣旨を踏まえて、以下の項目への提案をお願いします。提案書の作成方法は、「8 RFI 回答の提出」を参照ください。

なお、貴社として提案可能な範囲に限られる場合(その他は提案可能だがダッシュボードのみ提案不可、など)には、提案不可の範囲が分かるように作成をお願いします。

(1) 提案の全体構成

貴社提案の全体構成の記載をお願いします。

(2) 提案ソリューションの概要

貴社が提案する各種ソリューションの製品名およびその概要の記載をお願いします。

(3) 仕様書に対する意見等

本県が作成している「仕様書」に対する意見等記載願います。

その他、「仕様書」に含む、別紙 2-2「機能要件一覧(県立学校)」及び別紙 2-3「非機能要件一覧(県立学校)」への実現可否のご回答をお願いします。

(4) 調達方針策定に向け特に提案を求める事項への個別提案

調達方針策定に向け個別に提案を求める事項（詳細は、以下参照）のそれぞれについて、実現・対応可否とその理由、実現可能な場合の具体的な手段・方針の回答をお願いします。

＜調達方針策定に向け個別に提案を求める事項＞

- ①教職員端末と授業用端末の OS 統合を伴う 1 台化を目指しています。別紙 1-1「県立学校の現状と対応方針案」でも示しているとおり、現行の校務用端末 OS は Windows が主流ですが、教育情報ネットワーク（Google Workspace）との親和性を考慮し、Chrome 端末での 1 台化も検討しています。ついては、以下の端末 OS の種別ごとにゼロトラストセキュリティ対策環境整備に向けた具体のソリューションと移行プロセスについて、ア及びイそれぞれ概算費用の算出を含めたご提案をお願いします。

ア Windows 端末による 1 台化

イ Chrome 端末による 1 台化

ただし、Office アプリケーションの継続利用や Windows 特有の既存ソフトウェアの運用が想定される点を踏まえ、実態に即した提案をお願いします。具体例として、以下のような内容を考慮願います。

【例】・当面は既存端末を継続利用し、段階的に 1 台化へ移行する

- ・ V D I 環境を構築し、必要なアプリケーションを提供する
- ・各学校へ最低限数の Windows 端末の整備を継続する 等

- ②県では教員用の端末を整備しており、その端末は今後も有効活用することを想定しています。（望ましいと考えられる端末への一斉置き換えは困難）

端末が置き換わるまでの措置として、既存端末への新たなセキュリティ製品の導入をせずに、端末の既存機能や運用ルールでセキュリティを確保しようとした場合、穴となり得る点は何か、対策はどのようなものがあるか、提案をお願いします。

（職員室以外には持ち出さない、端末の標準機能によりディスクを暗号化する、等）

- ③運用テスト等の関係上、従来の校務支援システムと新しいシステムを並行して稼働させる必要が生じると考えています。その場合、ゼロトラストセキュリティが未実装のネットワークや端末から、新環境へのアクセスが行われる場面もあると考えています。

このような過渡的な時期に対する措置として、既存環境への新たなセキュリティ製品の導入をせずに、システム、ネットワーク、端末の既存機能や運用ルールでセキュリティを確保しようとした場合、穴となり得る点は何か、過渡期における対策はどのようなものがあるか、提案をお願いします。

（端末を職員以外には持ち出さない、端末の標準機能によりディスクを暗号化する、二要素認証を徹底する、等）

- ④県立学校ごとに分散して運用されているファイルサーバや NAS、校務処理用ストレージ等の統合にあたり、県保有の教育情報ネットワーク（Google ドライブ）への集約を基本とするか、他のクラウドソリューションを含めた最適な運用等とするか、セキュリティの確保と運用効率の両立を前提に、必要に応じて初期費用・年間費用も含めたご提案をお願いします。クラウド移行がコスト的に大きくなる場合は、十分なセキュリティ対策を前提として、クラウド移行以外の方法についても提案をお願いします。

- ⑤学校内では複合機その他、個別の情報システム（ID、パスワードのみで利用可）を使用している事例

がありますが、ネットワークを統合した場合、それらのセキュリティを担保するためにはどのような運用が考えられるか、提案をお願いします。

- ⑥ロケーションフリー実現のため、BYOD の仕様も検討しています。BYOD として使用可能とする端末は何が適切か、また BYOD 実装に必要な費用があれば併せてご提案をお願いします。
- ⑦次世代の校務 DX 実現に向けて、各種規則の改訂が必要になると考えています。規則の改訂に対して、どのような支援が可能かご提案をお願いします。
- ⑧新システムの導入にあたっては、既存校務支援システムからのデータ移行が必要と考えます。移行に必要なデータの範囲や移行方法と必要な費用についてご提案をお願いします。
- ⑨今後データの利活用を図っていくために、各種システムやツール間のデータ連携が重要であると考えます。校務支援システムを中心として、データ連携が可能な項目についてご提案をお願いします。加えて、中・高の日常的なデータ連携と調査書の電子化等の入試業務の効率化に資するデータ連携方法については、将来的なあり方もご提案をお願いします。
- ⑩市町村立小中学校向けのシステムは別途調達を行う想定です。そこで、県立中学校に導入するシステムについて、県立高校と同じシステムとするべきか市町村立校と同じシステムにするべきか、理由も併せてご提案をお願いします。
- ⑪ ⑩に加えて、初等部・中等部・高等部がある日立市立日立特別支援学校についても、県立高校と同様のシステムとするべきか市町村立校と同じシステムに合わせるべきか、理由も併せてご提案をお願いします。
- ⑫教育ダッシュボード機能について、機能要件一覧に記載した機能の他に、効果的なデータの見せ方などがありましたら、先進事例なども踏まえ、ご提案をお願いします。
なお、本県では昨年度、Google 環境上に試行版の教育ダッシュボードを構築し、県立学校で試行運用を実施しました（生徒カルテ、成績の推移、健康観察）が、入力データの反映（アプリ間連携）に時間がかかる、教員等の入力の手間がかかる、といった課題が出ていますので、そのような課題にも対応できる提案をお願いします。
（例：校務支援システム内にデータを集約させて表示させる、教員が個別のニーズに合わせてダッシュボードをカスタマイズできる、等）
- ⑬システム導入後の利活用サポートについて、ご提案をお願いします。
また、ご提案の内容に合わせた費用についても算出願います。
- ⑭県では「緊急情報メール配信システム」を構築し、緊急時（不審者発生時など）に、県教育委員会から特定の地域や特定の学校の保護者生徒へメールを送信できるシステムを構築しています（メールアドレスは Web 上で申し込みを受け付け、登録）。本システムに代わるサービス（校務支援システムの機能の一部でも可）について、ご提案をお願いします。

⑮生成 AI を活用する機能があれば御紹介ください。(※特に校務の効率化に資する機能)

⑯新しい校務支援システムの機能により、教員の校務の効率化や教育の質の向上が期待できます。先行事例等を基に、そのような業務効率化案があれば、提案をお願いします。また、併せて先行事例等で効果を測定した事例があれば、具体的にご教示ください。

(例：保護者からの出欠連絡を校務支援システムに自動連携でき、●●時間分の業務量削減ができた、等)

(5) スケジュール案

令和9年10月からの稼働を予定した場合の調達・構築スケジュール案について記載願います。

(6) 構築・運用実績

貴社における次世代校務 DX 環境の構築実績を記載願います。

(7) RFI 全体に対する意見等

本 RFI に対する意見を記載願います。

(8) 概算費用(別紙 1-4「概算費用算出様式(県立学校)」参照)

次世代の校務 DX に係る必要費用の回答をお願いします。

ア 役務費用

次世代の校務 DX 環境を構築し、稼働するまでに要するシステム構築関連の費用および次世代の校務 DX 環境の運用保守(60 か月)に要するシステム運用関連の費用

イ ライセンス費用

次世代の校務 DX 環境の構築および運用・保守に要する、各種ライセンスの費用

ウ クラウド利用料

次世代の校務 DX 環境の構築および運用・保守に要する、クラウドの利用料

エ その他費用

その他に必要な費用

5 実施期間

令和7年6月6日(金)から令和7年7月4日(金)16時まで

6 RFI 回答への参加及び連絡担当者の通知

RFI 回答への参加について、別紙 1-5「情報提供依頼参加表明書兼秘密保持誓約書(県立学校)」に記入し、令和7年6月11日(水)16時までに電子メールにて報告、電話で到達確認をお願いします。

※1：上記書類への押印の必要はありません。

※2：必要なファイル開封用のパスワードをお知らせしますので、必ず到達確認をお願いします。

※3：返信で、提案に必要な書類をパスワード付き圧縮ファイルにてお送りします。

貴社規定によりパスワード付きファイルを受信できない場合には、参加表明書送付時に併せてファイルアップロードシステムのリンクなどもご提示ください。

・報告先：「11 連絡及び提出先」のとおり

・メールのタイトル：県立学校を対象とした次世代の校務 DX 環境の構築に向けた情報提供依頼参加について

・記載内容：貴社名、連絡担当者情報(部署名、役職、担当者氏名、電話番号、メールアドレス)

7 RFI に関する質問

(1) 質問方法

本 RFI についての質問及び問い合わせは、次のとおりとします。

- ・受付期間 : 令和 7 年 6 月 6 日(金)から令和 7 年 6 月 17 日(火)16 時まで
- ・質問方法 : 別紙 1-6「質問票(県立学校)」に記入し、電子メールで送信ののち、電話で到達確認を行うこと
- ・質問先 : 「11 連絡及び提出先」のとおり
- ・メールの標題: 県立学校を対象とした次世代の校務 DX 環境の構築に向けた情報提供依頼に係る質問票の送付について

(2) 回答方法

質問内容に関する回答は、次のとおりとします。

- ・回答予定日: 令和 7 年 6 月 25 日(水)
- ・回答方法 : すべての質問・回答を一覧化し、参加希望事業者の連絡担当者へメール送信します。

8 RFI 回答の提出

(1) RFI 回答資料

以下のアおよびイに則って、提案資料の作成をお願いします。なお、貴社として提案可能な範囲が限られる場合(その他は提案可能だがダッシュボードのみ提案不可、など)には、提案不可の範囲が分かるように作成をお願いします。

ア 公示資料にコメントや実現可否等を追記の上、回答いただきたい資料

書類名	記載方法
概算費用算出様式(県立学校)	年度ごと、費目ごとの概算費用を記載願います。
仕様書	業務効率化やコスト削減等に資する仕様改善案があれば、朱書きにて追記願います。
機能要件一覧	提案を想定しているシステム構成に基づき、実現の可否(カスタマイズの可否)、実現方法等を追記願います。 (県では、原則としてカスタマイズは最小限に留める想定です。)
非機能要件一覧	上記と同様、実現の可否、実現方法等を追記願います。

イ 新規作成(A4 サイズ・横向き・枚数制限なし・その他自由)の上、回答いただきたい資料

- ・提案書

※以下の通り、項目立てをお願いします。

※各項目において、運用の手間やコストの削減等に繋がる工夫等があれば、積極的に提案願います。

章	項目	主な記載事項(想定)
1	基本方針	本提案依頼の目的を効率的、効果的かつ低コストで実現するための提案に係る基本的な考え方等
2	提案の全体構成	提案する次世代の校務 DX 環境の全体像
3	提案ソリューションの概要	提案する次世代の校務 DX 環境を構成するソリューションの製品名や特徴など
4	調達方針策定に向け提案を求める事項への個別提案	実施要領「4 RFI の内容」内に記載の個別に提案を求める事項への提案

5	スケジュール	調達・構築スケジュール
6	RFI に対する意見	次世代の校務 DX 環境の整備に向けた追加の提案など
7	会社概要及び業務実績	会社概要、校務 DX の類似業務に関連する主な業務実績など

(2) 上記 (1) の通り作成した資料の提出要領

- ・提出期限 : 令和 7 年 7 月 4 日 (金) 16 時まで
- ・提出方法 : 電子メールにて送付し、提出後に必ず電話にて到着確認を行うこと。
また、提出ファイルについては、編集可能な形式にて添付するとともに、1 ファイル 20MB 以内、合計 40MB 以内に収めること。
- ・資料提出先 : 「11 連絡及び提出先」のとおり
- ・メールのタイトル : 県立学校を対象とした次世代の校務 DX 環境の構築に向けた情報提供依頼に係る回答提出について

9 RFI 内容説明の実施

回答された RFI の内容について、説明をお願いする場合があります。(時間及び場所については追って連絡します。)

10 情報の取扱い

- (1) 本 RFI の実施に要する費用は、事業者の負担とします。
- (2) 回答された RFI は返却しません。
- (3) 回答された事業者に対し、後日、本県より質問を実施する場合があります。
- (4) 本 RFI は、各種情報を得るための手段であり、貴社からの情報提供をもって将来のシステム導入や発注を約束するものではありません。
- (5) 回答された RFI の内容を本県における調達のために利用します。

11 連絡及び提出先

〒310-8588 茨城県水戸市笠原町 978 番 6

茨城県教育庁学校教育部教育改革課 I C T 教育推進室

TEL : 029-301-5308

E-mail : kyoukai@edu.pref.ibaraki.jp

12 今後の予定について

- (1) 回答された RFI を踏まえ、必要に応じ再度 RFI を実施する予定です。(時期未定)
- (2) 上記 (1) の RFI 実施後、仕様書を確定させ、公募型プロポーザル方式(RFP)により調達事業者を決定する予定です。(時期未定)